

基本方針と施策に方向に基づく主な事業（1）

》》》主な事業について

7つの基本方針を推進するため、それぞれの施策の方向に沿った事業に取り組みます。既に実施実績がある事業を基本方針や施策の方向に沿って継続するほか、新たな事業にも取り組みます。下表はそれらの主な事業について基本方針（下段のⅠ・Ⅱは施策の方向）別に記しています。プランの計画期間である5年以内に着手すべき事業や、実現に向けて検討する事業もここに含みます。関連する基本方針の枠では、他の基本方針に関係があると考えられるものを番号で示しています（下欄参照）。

基本方針① 誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出		
施策の方向 Ⅰ.心の豊かさを目指して Ⅱ.文化のすき間をつくらない		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
クラシックのいろは（年4回）	②	文化都市協会
なるほど〜クラシック（音楽講座・年4回）		文化都市協会
市展「いが」	②③	文化交流課・文化都市協会
ミュージアム青山讃頌舎企画展・特別展		文化都市協会・東洋文化資料館青山讃頌舎
伊賀市民文化祭	②③	文化交流課・実行委員会
先人顕彰のための周年事業（生誕〇周年記念展など）	②③⑤	文化交流課・文化都市協会
蕉門大学 美術ゼミナール	③	前田教育会
楽器体験（ワークショップ）	②③	文化都市協会
多文化共生企画「世界の茶文化に触れる」（仮称）	②⑦	文化都市協会・市民生活課・国際交流協会
同上 「世界の楽器体験ワークショップ」（仮称）	②⑦	文化都市協会・市民生活課・国際交流協会
同上 「世界の刺繍を学ぶ講座」（仮称）	⑦	文化都市協会・市民生活課・国際交流協会
障がい者の社会参加に繋がる作品展	③⑤⑦	文化都市協会・障がい福祉課・社会福祉法人
高齢者福祉施設へのアウトリーチ	⑦	文化都市協会・医療福祉政策課・社会福祉法人
病院コンサート（仮称）	⑦	文化都市協会・医療福祉政策課
伊賀エンゲキ塾	②③	文化都市協会
落語会（寄席）	②④	文化都市協会・前田教育会
総合芸術祭の創設[検討]	①②③	文化都市協会・伊賀芸術文化協会等
穂月明氏の遺志により寄贈された作品類の資料化		文化交流課・文化都市協会
基本方針② 子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充		
施策の方向 Ⅰ.子どもたちの心を豊かに Ⅱ.成長に即した文化芸術の提供		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
全小学校への音楽、伝統芸能等のアウトリーチ	③⑦	教育委員会（小学校）・文化都市協会
子ども俳句教室	⑥⑦	芭蕉翁顕彰会
図書館事業（読み聞かせ、ナイトライブラリー等）	①③⑦	図書館
キッズ・アカデミー	③⑦	文化都市協会
チャイルドクラシックプログラム	③⑦	文化都市協会・健康推進課・伊賀医師会等
伊賀こどもミュージカル	①③⑦	文化都市協会
幼稚園・保育所（園）への音楽・創作アウトリーチ	③⑦	文化都市協会・保育幼稚園課
子育て支援事業における音楽・創作プログラム	⑦	こども未来課・文化都市協会
陶芸教室（小学校）	③⑤⑦	商工労働課・観光戦略課
こども蕉門大学	③⑤	
高校生の作品展示（クラブ活動の成果発表）	①⑤	前田教育会・各高校
ファミリーコンサート	①	文化都市協会
子どもアートフェスタ（仮称）	①⑤⑦	文化都市協会・こども未来課・教育委員会

備考：掲載は順不同です。取り組みの主体欄に課（館）の名称があるのは主体が伊賀市であることを示します。公益文化団体については「公益財団法人」等の名称を略しました。伊賀市文化都市協会は文化都市協会と略しました。

基本方針	① 誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出	② 子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充	③ 担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ	④ 施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備	⑤ 歴史風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術創造	⑥ 観光・産業との連携による文化芸術の全国発信	⑦ 文化芸術を通じた社会的課題への取り組み
------	----------------------	-------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-----------------------

基本方針と施策の方向に基づく主な事業（２）

基本方針③ 担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ		
施策の方向 I. 人づくりとまちづくり II. 多様な人材活用による文化振興		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
bimonthly Concert（年6回）	①②	文化都市協会
新人演奏会inいが	①②	文化都市協会
青山推薦コンサート	①②	文化都市協会
中学校吹奏楽オープンリハコンサート	①②	文化都市協会・吹奏楽連盟
祭り文化の保存と継承	①②⑤⑦	文化財課・文化交流課・保存会等
獅子神楽の継承活動	①②⑤⑦	生涯学習課
地域オーケストラの育成支援	⑤	文化都市協会
基本方針④ 施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備		
施策の方向 I. 施設の管理と機能の発揮 II. 施設の保存と有効活用		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
光のART展	①②	文化都市協会
生活工芸展	①②	文化都市協会・ギャラリーやまほん
旧小田小学校本館企画展	①②⑤	文化都市協会・伊賀師友会
ロビー・ホワイエ空間利活用事業	①②⑤	文化都市協会他
基本方針⑤ 歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造		
施策の方向 I. 地域の特性を生かした文化芸術の創造 II. 新しい文化芸術の位置づけ		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
芭蕉祭	①②③	文化交流課・芭蕉翁顕彰会
しぐれ忌	①③	文化交流課・芭蕉翁顕彰会・山出区
芭蕉翁記念館企画展・特別展	①②③	文化交流課・芭蕉翁顕彰会
俳句入門講座	①③	芭蕉翁顕彰会
歌枕俳枕講座	①	文化交流課・生涯学習課
上野城新能	①②④	文化交流課・実行委員会
マイ・ストーリー伊賀（作品公募）	①②	文化交流課・伊賀文学振興会
文学講演会	①②③	文化交流課・伊賀文学振興会
雪解のつどい	①②	文化交流課・実行委員会
上野天神祭	①③⑥	文化財課・上野文化美術保存会
上野天神祭お囃子体験会	①②③⑥	文化財課・上野文化美術保存会
親子で歩こう！だんじりを見学しよう！	①②	文化財課・生涯学習課
悠々セミナー	①②	生涯学習課
わら細工しめ縄飾り	①②⑦	生涯学習課
市民講座「古文書講座」	①③	総合政策課・三重大学・上野商工会議所
同上 「忍者・忍術学講座」	①	総合政策課・三重大学・上野商工会議所
文化財ウオーク	①③④	文化財課・府中地区住民自治協議会
オオサンショウウオ観察会	①②	文化財課・生涯学習課
文化財連続講座（仮称）	①②	文化財課・文化都市協会
文化財特別公開	①②④	文化財課・文化都市協会
硝子雛展	①④⑥	文化都市協会
AKAIKE ART GALLERY	①④⑥	文化都市協会

備考：掲載は順不同です。取り組みの主体欄に課（館）の名称があるのは主体が伊賀市であることを示します。公益文化団体については「公益財団法人」等の名称を略しました。伊賀市文化都市協会は文化都市協会と略しました。

基本方針	① 誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出	② 子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充	③ 担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ	④ 施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備	⑤ 歴史風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術創造	⑥ 観光・産業との連携による文化芸術の全国発信	⑦ 文化芸術を通じた社会的課題への取り組み
------	----------------------	-------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-----------------------

基本方針と施策の方向に基づく主な事業（3）

基本方針⑥ 観光・産業との連携による文化芸術の全国発信		
施策の方向 I. 文化芸術をツールとした地域活性化 II. 都市の文化的な顔づくり		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
伊賀上野・城下町おひなさん	①⑤	観光戦略課・実行委員会
伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」	①②③	観光戦略課・実行委員会
伊賀上野城下町ホテル事業	④	空き家対策室・NOTE伊賀上野
ライトアップイベント「お城のまわり」	①②④	中心市街地推進課・実施委員会
伊賀上野「灯りと忍びの城下町」	①④⑤	中心市街地推進課・実行委員会
レンタルアートプロジェクト[検討]	①②④⑤	文化都市協会・創造者・事業者
子どもの作品を地域・事業者との連携事業[検討]	①②③④	文化都市協会・創造者・事業者
基本方針⑦ 文化芸術を通じた社会的課題の取り組み		
施策の方向 I. 社会参加のきっかけづくり II. 協働の場の創造		
事業名	関連する基本方針	取り組みの主体
人権を考える市民の集い	①②③	人権政策課
国際交流フェスタ	①②	市民生活課
子育て世代のアート体験等による交流活動[検討]	①	文化都市協会等
地域防災を考える事業[検討]	①②④	文化都市協会・社会福祉協議会等

備考：掲載は順不同です。取り組みの主体欄に課(館)の名称があるのは主体が伊賀市であることを示します。公益文化団体については「公益財団法人」等の名称を略しました。伊賀市文化都市協会は文化都市協会と略しました。

基本方針	① 誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出	② 子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充	③ 担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ	④ 施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備	⑤ 歴史風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術創造	⑥ 観光・産業との連携による文化芸術の全国発信	⑦ 文化芸術を通じた社会的課題への取り組み
------	----------------------	-------------------------	----------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------	-----------------------

施策・事業名	東大阪市民美術センター管理運営業務								ビジョン	IV-1-①		
開始年度	平成9年度								項目番号	IV-3-②		
施策・事業の主な対象	市民全般 <input checked="" type="checkbox"/>	男性	女性	乳幼児	小学生	中学生	高校生	成人	勤労者	基本理念の区分	都市文化	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
対象地域	市内全域 <input checked="" type="checkbox"/>	A地域	B地域	C地域	D地域	E地域	F地域	G地域	市外/その他 <input checked="" type="checkbox"/>	事業実施月	通年	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業実施時間	1日
										事業実施曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日 <input checked="" type="checkbox"/> 日曜・祝日 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	
										参加費	無料	←無料、有料、どちらも有り

施策・事業目的
特別展等での来館者は65歳以上が多くを占めている。このことから来館者の対象を大人から子どもまで幅広くし、展示・関連企画を企画する。

広報の方法

市政だより <input checked="" type="checkbox"/>	ウェブサイト <input checked="" type="checkbox"/>	facebook <input checked="" type="checkbox"/>	Twitter <input checked="" type="checkbox"/>	ポスター <input checked="" type="checkbox"/>
チラシ <input checked="" type="checkbox"/>	報道提供 <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		

施策・事業内容
特別展①「陶と花のマリアージュ展」～花博いちょう館出品作品といけばな～ 特別展②「木彫りどうぶつ大集合！はしもとみおの世界展」 企画展①第2回出張美術展「深沢幸雄 銅版画コレクション」 企画展②第3回出張美術展「現代彫刻と写真」

施策・事業実績
【特別展】
①会期 5/18(金)～6/17(日) 総入場者数2066人(男500人女1566人)平均76.5人/日
②会期 1/31(木)～3/3(日) 入場者数10653人(男3682人/女6971人)平均380.4人/日
【企画展】
①会期 7/10(火)～7/20(金) 入場者数488(男260人、女228人)61人/日 ②会期 8/3(金)～8/19(日) 入場者数243人(男96人女104人)16.2人/日 ※今年度から65歳以下の占める割合が増加

施策・事業開始の背景及び環境の変化

事業の効果
●アンケート等の検証結果または自己評価
今年度の実績から幅広い年齢層の方に来館して頂いていることがわかる。特に特別展の来館者が非常に多く大人から子どもまで楽しんでもらった企画になったと思う。

・アンケート (有) 回答率 () %
・ユニバーサルデザイン対応 (有)
有りの場合は項目を選択→ 乳幼児 高齢者 障害者 外国人
ユニバーサルデザイン対応の具体例(一時保育が可能。多言語の案内を用意など)

授乳室を設置

課題
今後も継続して様々な年齢層の方に来館していただける企画、提案をする。

(単位:千円)

施策・事業経費 (単位:千円)	平成31年度予算額		平成30年度予算額	
			平成30年度決算額	

	指標	指標の計算式等	指標の設定理由	単位	前年度(H30)		今年度目標(R1)	来年度目標(R2)
					目標	実績		
成果指標	① 展示室稼働率 (第1～第3展示室平均)	利用日数÷開館日数の平均	市民及び文化関係団体の発表の場としての利用目的の達成度をはかる	%	90	88	90	90
	② 入館者数		センターの認知度や有効性をはかる	人	40,000	43,005	40,000	40,000

ネットワーク及び複合効果など

市民の皆様に美術を主とした芸術に親しむ場として定着し、観賞、理解を深め情操を高めつつ、日々の憩いや癒やしの場ともなるよう地域との関わりを進めていく。

今後の方向性

これまでの貸館事業や特別展示・企画展示に加え、市内大学との連携や若手アーティスト支援事業など文化の担い手を育成する仕組みをつくっていく。

備考

プラン策定のスケジュール

2020.11.27

	令和2年							
	3	4	5	6	7	8	9	
審議会			●5/29 諮問・第1回審議会			●7/29 第2回審議会（講演会）		
庁内会議	●3/6 第1回庁内会議					●7/29 第2回庁内会議（講演会）		
その他スケジュール	←→ 方針検討				←→ 関係団体等への調査等			

	令和2年			令和3年			
	10	11	12	1	2	3	4
審議会		●11/27 第3回審議会				←→ 第4回審議会	←→ ●答申
庁内会議		●11/11 第3回庁内会議				←→ 第4回庁内会議	
その他スケジュール	←→ 案作成		←→ 案修正 ●中間案	←→ 全協報告	←→ パブリック コメント		←→ 全協報告